

家庭

| | |
|----|------|
| 2年 | 家庭基礎 |
| 3年 | 被服探究 |

2026年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-----------------|--|--|-------------|--|---|--------|
| 2年生 特進コースI&Sクラス | | 家庭科 | 家庭基礎 | 必修 | 2単位 | 森谷 多紀子 |
| 教科書 | 実教出版 新図説「家庭基礎」 | | 副教材等 | iPadへのデータ配信 | | |
| 授業のねらい | 家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。・生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 授業を内容を板書だけでなく、よく聞いて自分なりのノートを作るようにする。課題はすべてやりきり期限内に提出する。 | | | | | |
| 評価方法 | 年4回(1学期期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、課題、提出物、実習作品・レポート、プレゼンテーション、授業態度を総合的に評価 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | 第1章 自分らしい生き方と家族 | | ・各ライフステージの発達課題を知り、自分の強みを生かしながら将来を展望する。 ・自立することの正しい意味を知り、自己理解を深めながら未来の自分を描く。 | | |
| | 期末 | 第7章 衣生活をつくる | | 家庭での手入れのしかたを理解し、実践する。(実習) | | |
| 期末 | | 第9章 経済的に自立する | | 多様な支払いのしくみを理解し、自分に合った支払い方法を選択できる。 家計と国民経済・国際経済の関係を理解し、これからの家計管理について考える。 | | |
| | 2 学 期 | 中間 | 第5章 食生活をつくる | | ・日本の食文化の成り立ちを理解する。・和食の特徴を理解する ・調理を通して基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける | |
| 期末 | | | 第2章 子どもとかわる | | 栄養とからだのつながりを学ぶ。 ・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴について学ぶ。 すこやかな成長には生活習慣の形成や健康管理、安全対策が重要であることについて学ぶ。 乳幼児の食習慣の重要性と、乳幼児に好ましい衣服について学ぶ。 | |
| | 期末 | 第3章 高齢者とかわる | | 高齢社会への理解を深め、高齢者と共生する社会について考える。 高齢者の心身の変化を理解し、生活の自立と支援について考える。 | | |
| 第4章 社会とかわる | | 福祉とは何か。家庭や社会の状況と課題について理解を深める。 社会保障制度の目的を理解し、人の一生の暮らしを支えること、みんなで支える制度であることについて考える。 | | | | |
| 3 学 期 | 学年末 | 第7章 住生活をつくる | | 平面図の読み取り、その中で生活行為がどのように行われているか想像できる。 自然災害や人為的な災害への対策を考える。 | | |
| | | 第8章 消費行動を考える | | 契約や意思決定を理解し、生活情報を収集・活用する力を身につける。 多様な販売方法や問題商法を理解し、問題商法の被害防止や解決策について考える。 多様な支払いのしくみを理解し、自分に合った支払い方法を選択できる。 消費者の権利と責任について理解し、これからの消費者として私たちに何ができるか考える | | |

2026年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|-----------------|------|--|-----|-----------------|
| 2年生 進学コースAクラス | | 家庭科 | 家庭基礎 | 必修 | 2単位 | 前島 加奈 森谷 多紀子 |
| 教科書 | 実教出版 新図説「家庭基礎」 | | 副教材等 | iPadへのデータ配信 | | |
| 授業のねらい | 家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 授業を内容を板書だけでなく、よく聞いて自分なりのノートを作るようにする。課題はすべてやりきり期限内に提出する。 | | | | | |
| 評価方法 | 年4回(1学期期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、課題、提出物、実習作品・レポート、プレゼンテーション、授業態度を総合的に評価 | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | 第1章 自分らしい生き方と家族 | | ・各ライフステージの発達課題を知り、自分の強みを生かしなが ら将来を展望する。 ・自立することの正しい意味を知り、自己理解を深めながら未 来の自分を描く。 | | |
| | | 第2章 子どもとかかわる | | ・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴について 学ぶ。 すこやかな成長には生活習慣の形成や健康管理、安全対策 が重要であることについて学ぶ。 | | |
| | 期末 | 第3章 高齢者とかかわる | | ・高齢社会への理解を深め、高齢者と共に生きる社会について 考える。 高齢者の心身の変化を理解し、生活の自立と支援について考 える。 | | |
| | | 第4章 社会とかかわる | | 福祉とは何か。家庭や社会の状況と課題について理解を深め る。 社会保障制度の目的を理解し、人の一生の暮らしを支えるこ と、みんなで支える制度であることについて考える。 | | |
| 2 学 期 | 中間 | 第5章 食生活をつくる | | 現代の食生活がどのような傾向にあるかを知り、健康的な食 生活の必要性を学ぶ。 栄養とからだのつながりを学ぶ。 | | |
| | | 第6章 衣生活をつくる | | 調理の理論とコツを押さえる。(実習) 衣服の入手から処分までを考えた衣服計画を立てることがで きる。 | | |
| | 期末 | 第7章 住生活をつくる | | 家庭での手入れのしかたを理解し、実践する。(実習) 平面図の読み取り、その中で生活行為がどのように行われて いるか想像できる。 | | |
| | | 第8章 消費行動を考える | | 自然災害や人為的な災害への対策を考える。 契約や意思決定を理解し、生活情報を収集・活用する力を身 につける。 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | 第9章 経済的に自立する | | 多様な販売方法や問題商法を理解し、問題商法の被害防止 や解決策について考える。 多様な支払いのしくみを理解し、自分に合った支払い方法を選 択できる。 消費者の権利と責任について理解し、これからの消費者として 私たちに何ができるか考える。 現代の家計の特徴について理解する。 生活リスクやライフイベントなどに備えた、生涯を見通した経済 計画について考える | | |

2026年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|--|------|--|-----|--------|
| 3年生 進学コースAクラス | | 家庭 | 被服探究 | 選択 | 2単位 | 森谷 多紀子 |
| 教科書 | 特になし | | 副教材等 | iPadへのデータ配信 | | |
| 授業のねらい | 被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得させ、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる | | | | | |
| 学習上の留意点 | 実習が中心となるので積極的な行動が必要となる(授業に出れなかったときは、次の授業までに作業を進める)・授業を内容を板書だけでなく、よく聞いて自分なりのノートを作るようにする。 | | | | | |
| 評価方法 | レポート、プレゼンテーション資料および発表、平常点で評価する。□ | | | | | |
| 観点別評価 | 以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。 | | | | | |
| 学習計画 | 考査 | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 中間 | 衣服の構成 立体構成衣服と平面構成衣服 衣服素材の性能と選択 | | 衣服の2つの形状(平面構成衣服・立体構成衣服)や、既製衣料サイズ表示を学ぶ。 立体構成衣服と平面構成衣服、それぞれの形状の違いを学び、衣服を構成する要素の理解を深める。 | | |
| | 期末 | 洋服の制作(パンツ) 着装(発表) | | 採寸の手順に加え、パターン(平面作図・立体裁断・囲み製図によるパターン)や原型(成人女子原型・成人男子原型)を種類ごとに理解する。 ・布地の種類(表地、裏地、しん地)や性質を理解し、それぞれの特徴に合わせた地直しや断ち方、縫い方を習得する。 洋服の着装について、快適に過ごすための工夫や、からだの保護、保健衛生的な観点の他、TPOへの配慮などさまざまな | | |
| 2 学 期 | 中間 | 被服の製作(自由作品) | | ・洋服の種類に応じた適切な製作手順を身に付け、デザインを形にできるを計画性と技術を向上させる。 ・洋服の製作を通して立体構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。 | | |
| | 期末 | 着装(発表) | | 多様化するファッションの中で、衣服を選ぶことに関心をよせている。また、その衣服を着用する動機や、それぞれが考えたコーディネートに対して活発に意見を発表することができる。 | | |
| 3 学 期 | 学年末 | | | | | |